



咲き誇る梅の花とみなべ町中心部

和歌山県

みなべ町

日本一の梅の里・
みなべ町から
人・地域・地球の
真のウェルビーイングを創生



人口 11,767人 面積 120.28 km²

都市の特長

和歌山県の海岸線のほぼ中央に位置し、日本一の生産量を誇る「南高梅」、最高級の炭である「紀州備長炭」や、アカウミガメの産卵地である「千里の浜」が有名。

みなべ町

MINABE TOWN

「みなべ梅
ラーニングコモンズ」
多世代共創事業

みなべ町は江戸時代から続く先人の知恵と努力により、「日本一の梅の里」を作り上げ、「世界農業遺産」として世界に認められている。一方、高齢化による梅農家の減少と日本人の和食離れによる梅干しの消費量減少が課題となっている。町内外と協働し、梅の健康機能を広めることにより持続可能な梅栽培を実現する。

01 「みなべ梅ラーニングコモンズ」探究プログラム

町民が輝く町であり続けるために、町民(中高生、大人)と町外の人(関係人口や大学)が協働し、地域の課題解決策を探究・共創する場を作り、取組を通じて学習する組織を実現する。バイオ炭、有機農業など様々なテーマがあるが、一番主要なテーマは「梅の健康機能」の普及であり、都市部居住者、若者、外国人にアピールをしていく。

梅の健康機能 共創テーマ	1	町内での普及啓発	町内の梅料理研究会と協力し、梅料理教室や梅食育の取組を行う
	2	都市部でのイベント開催	都市部で梅の健康機能をPRするイベントの開催や、SNSでの発信を行う
	3	梅プロモーションコンテスト	関西の大学生や若者が梅のプロモーションを提案する
	4	海外プロモーションイベント	上海の飲食・小売業関係者向けのイベント実施により、取引につなげていく

様々な属性の人が
集まり探究・共創



南高梅誕生のまち



日本一の梅の
産地
みなべ町



02 梅剪定枝バイオ炭定量化事業

炭化により土壌へ
炭素貯留



森林組合や立命館大学日本バイオ炭研究センター、和歌山県工業技術センター等と連携し、梅剪定枝のバイオ炭化の仕組みづくりに着手する。梅剪定枝を炭化炉によりバイオ炭化することで、未利用資源の循環、田畑など土壌への炭素貯留、土壌の生物多様性保全を行うことができる。バイオ炭は世界的にも注目されている炭素貯留の方法である。

各取組の
詳細はこちら

取組 01



インタビュー

Interview

01 「梅づくりで幸せ」を目指して



みなべ町 政策推進課
副課長 瀧川 昇 さん

「みなべ梅ラーニングコモンズ」は町内のステークホルダーが学びながら課題解決に取り組む場です。梅農家や加工業者に加え、町の職員も各課から参加することで、課題解決策の具体的な話し合いが進んでいます。バイオ炭定量化事業についても、ラーニングコモンズで学ぶ探求テーマの1つとして設定しており、炭化した後の活用方法を検討しています。町が一体となり、「梅づくりで幸せ」という将来像を目指して各取組を推進していきます。

南高梅の梅干し



02 環境問題に正面から向き合う



みなべ川森林組合
参事 松本 貢 さん

みなべ町が掲げる持続可能な梅産業という観点から、環境負荷となっている梅剪定枝の活用策としてバイオ炭の研究を始めることとなり、備長炭の多面的利用において経験のある当組合にお声がけいただきました。我々が取り組んできた事業の延長戦ではあるものの、当組合の本業は林業です。梅農業という初めて関わる分野に対する不安もありましたが、町内でバイオ炭に関心のある農家や住民が集う「みなべ梅wo炭クラブ」が結成され、当クラブとの連携が進んでいます。バイオ炭化事業が持続可能なものとなるには、幾多の問題を克服しなければなりませんが、本取組によって町全体にSDGsが普及することを願っています。

今後の展望

梅干や梅料理、「みなべ梅ラーニングコモンズ」活動を通じ、心身が健康で幸せな町民を増やしていく。また、そのウェルビーイングな暮らしや生き方を、「梅収穫ワーケーション」や様々なプロモーションを通じて、国内・世界にも広げていくことを目指す。また、評価尺度として「ウェルビーイング指標」を導入し、客観データと主観データに基づき、「みなべの 未来を みんなで」描き出し推進していく。

そのほかの 取り組み

おにぎりサミット

米の消費量が減少する中、日本のいいところが詰まったおにぎりを通じて、日本の食文化を世界へ、次世代へつないでいく。



UME-1フェスタ

高校生が梅干しを用いて若者向けの料理を販売する『グルメ甲子園』などのイベントを開催。



世界農業遺産「みなべ・田辺の梅システム」

約400年前から続く梅栽培について、梅産業全般のグローバル展開を図るとともに、地域の魅力・価値を再発見、再構築する。

